



明桜中学校が目指す教育



■学校教育目標 「自立」「協働」「創造」

自立：人に頼らず、自分で考え、自分で判断して、正しく行動する 協働：一人一人が自らの個性や特性を生かしながら、一致団結して物事を行う 創造：今までなかったものや新たな仕組みをつくり出していく

■目指す生徒像

- ・ねばり強く最善を尽くし、不屈の精神で自己を高め続ける生徒（人間力）
- ・手を携えて仲間と共に生きる、豊かな人間愛にあふれた生徒（人間味）

■目指す学校像

- ・「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の実践をとおして、分かる喜びを味わうことのできる学校
- ・礼儀正しく落ち着いたある中で、誰もが明るく前向きに気持ちよく生活できる学校



学校経営の重点事項

1 開校3年目の学校づくり

- ・二年間の実践を土台に、引き続き、学校運営及び教育活動の両面において、これまでの慣例にとらわれない、新たな視点での学校の仕組みづくりを進める。
- ・新しい時代に向かう社会の流れに沿った学校運営の一環としてチーム担任制を導入し、学年職員全員で学年の全生徒を支援する体制を築いていく。

2 確かな学力の定着

- ・「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善に積極的に取り組むとともに、一人一人の学力の向上に向けて、「集中・継続・探究」の姿勢を意識させた学習支援を行う。
- ・一人1台のタブレット活用をさらに推進し、個の実態に応じた学びの形を実践する。
- ・「市指定研究（学力向上）」、「市教科別研究（数学）」の推進をとおして、学力向上のための学校課題を明確にし、すべての教科・領域においてその課題解決のための手立てを講じていく。

3 豊かな学校生活

- ・学校生活上のきまりについては、不易の部分を大切にしながらも、新しい時代に向かう新しい学校として、その必要性を十分に意識して判断していく。
- ・教職員の率先垂範により、生徒も教職員もお互いに笑顔で気持ちよく挨拶し、言葉を交わし合える、温かな学校の雰囲気大切にしていける。

4 生徒指導と教育相談

- ・チーム担任制を十分に生かし、生徒の細かな変化を見逃さない指導体制を確立するとともに、個々の生徒に対しては、受容的な姿勢で、困り感を引き出して一緒に考えていくようにする。
- ・学年職員で共通理解を図りながら、自己肯定感を育むための人間関係づくりを進めるとともに、特別な手立てが必要な生徒については、学年チームとして情報交換を行った上で効果的な支援を行う。

5 生徒の自主的な活動

- ・チーム担任制の導入に伴い、生徒主体の学級活動や話し合い活動を充実させ、生徒自身が主役となって学級づくりや集団づくりを進めていけるよう支援する。
- ・部活動は「生徒の自発的な活動により、自己の能力・特性を伸ばすこと」を目指し、活動規定に基づいた安全で計画的な指導を行う。

6 地域や保護者との連携

- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置により、地域や保護者と目指す生徒の姿を共通理解し、生徒の活動を支える仕組みづくりを推進する。
- ・保護者の活動として、希望者が自主的に教育活動の支援に関われる仕組みを継続するとともに、保護者に対して必要に応じて学校行事等へのボランティア支援を要請する。



- ◆業務改善 チーム担任制による組織運営の改善を図るとともに、職員一人一人が量と質を考えた働き方を常に意識し、簡素化・効率化による業務改善を図る。
- ◆感染症対策 教育活動の平常化へ向けて、校内における感染症拡大防止のための衛生管理及び必要な対策を継続する。